

## 教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	徳永淳也
役職・職名	教授
所属	看護福祉学部 口腔保健学科
略歴	鹿児島大学 歯学部 歯学科 卒業 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻修了 九州大学大学院 医学系研究科 社会医学系専攻修了 鹿児島大学 歯学部附属病院 文部科学教官 助手 九州看護福祉大学 看護福祉学部 社会福祉学科 専任講師 准教授をへて 口腔保健学科 教授
取得学位	博士(医学)(九州大学)2001年、修士(保健学)(東京大学)1997年
担当科目	公衆衛生学、口腔保健学概論、口腔保健統計学、地域口腔保健学、歯科医療管理学、研究方法論、臨床歯科医学概論、健康教育総論、コミュニティ口腔保健実習指導(Ⅱ実習)、卒業研究・卒業研究論文等
関連資格	歯科医師
専門分野	医療管理学、公衆衛生学
所属学会	日本公衆衛生学会、日本医療・病院管理学会、日本健康教育学会、日本健康学会、日本看護研究学会
現在の研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーモア志向組織文化とストレスマネジメント効果、組織パフォーマンスの関連</li> <li>・介護サービスにおける質改善と組織的ストレスマネジメント</li> <li>・多職種間における精神的健康度関連アウトカムに与える影響要因の分析</li> <li>・社会福祉関連職種におけるバーンアウト抑制要因と組織要因の分析</li> <li>・地域活動参加と口腔機能の維持・向上との関連</li> </ul>
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学初年次生の自閉スペクトラム症に対するステレオタイプが態度におよぼす影響、日本健康学会誌 第92巻5号(印刷中)(共著)</li> <li>・地域住民における健康習慣の形成に関連する要因の分析 ～ソーシャルキャピタル、ライフスキル、自己管理スキルを関連要因と着目して～九州看護福祉大学紀要 第26巻1号 p22-34, 2025(共著)</li> <li>・歯科衛生士学生の自閉スペクトラム症に対するステレオタイプおよび態度との関連、熊本県歯科衛生士会 令和6年度 職能研究会</li> <li>・歯科衛生士のジェンダー意識、仕事価値観と職務継続意思および支配管轄意識との関連、九州看護福祉大学紀要 第24巻 第1号 p12-23, 2024.(共著)</li> <li>・Effects of food neophobia and oral health on the nutritional status of community-dwelling older adults. BMC Geriatrics 2022, 22:334. (<a href="https://doi.org/10.1186/s12877-022-03013-7">https://doi.org/10.1186/s12877-022-03013-7</a>)(共著)</li> <li>・喪失体験による意味の付与がもたらす歯科衛生士の自己成長感とストレスコーピングスキルへの影響 九州看護福祉大学紀要 第22巻1号 p24-37, 2022. (共著)</li> <li>・歯科衛生士の健康敏感度、健康不安および健診受診に関連する要因 九州看護福祉大学 紀要 第20巻1号 p35-44, 2020. (共著)</li> <li>・母子の自己制御機能とストレスが子どもの清潔行動に及ぼす影響 小児保健研究 第78巻3号 p199-208 2019. (共著)</li> <li>・精神看護実習における学生との関わりおよびストレスが看護実践能力におよぼす影響、九州看護福祉大学紀要 第19巻1号 p3-18 2019. (共著)</li> <li>・母子の食物新奇性恐怖と食生活コミュニケーションが野菜摂取におよぼす影響 民族衛生 第82巻5号 p183 2016. (共著)</li> <li>・企業社員におけるユーモア感覚、presenteeism と精神的健康度の関連 民族衛生 第80巻3号 p127-143 2014. (共著)</li> <li>・精神科治療領域におけるインフォームド・コンセントに関わる臨床看護師の看護実践一質的研究から量的研究の検証―九州看護福祉大学紀要 第12巻1号 p39-57, 2012.</li> <li>・イラショナルビリーフとユーモア感覚が看護師および介護職者の職業性ストレスにおよぼす影響、日本看護研究学会雑誌 第34巻3号 p401, 2011. (共著)</li> <li>・Influence of length of stay on patient satisfaction in Japan. The International Journal for Quality in Health Care 2002,14(6),pp493-502. (共著)</li> </ul>

	<p>・Effects of patient demands on satisfaction with Japanese hospital care. The International Journal for Quality in Health Care 2000,12(5),pp395-401. (共著)</p>
<p>関連業績 (受賞歴・科研費・特許等)</p>	<p>論文「病院医療における職務満足と患者満足の多軸的な関係」において、財)厚生統計協会より第一回川井記念賞(厚生統計協会奨励賞)受賞</p>
<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>有明広域行政事務組合 介護認定審査委員、れんげ国際ボランティア会理事</p>